

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 7 月 2 日 (2020.7.2)

【公開番号】特開 2020-68817 (P2020-68817A)

【公開日】令和 2 年 5 月 7 日 (2020.5.7)

【年通号数】公開・登録公報 2020-018

【出願番号】特願 2018-202489 (P2018-202489)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 5 月 8 日 (2020.5.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 識別情報の可変表示を行うことが可能であり、第 2 識別情報の可変表示を行うことが可能な遊技機であって、

第 1 識別情報又は第 2 識別情報の可変表示の表示結果として特定表示結果が導出表示されたときに、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な有利状態制御手段と、

第 1 識別情報又は第 2 識別情報の可変表示の表示結果として前記特定表示結果とは異なる特殊表示結果が導出表示されたときに、前記有利状態とは異なる特殊状態に制御可能な特殊状態制御手段と、

第 1 識別情報又は第 2 識別情報の可変表示の表示結果を決定するための判定値を用いて、可変表示の表示結果を決定する表示結果決定手段と、を備え、

前記判定値に、第 1 識別情報又は第 2 識別情報の可変表示の表示結果として前記特定表示結果を導出表示することを決定するための特定判定値と、第 1 識別情報又は第 2 識別情報の可変表示の表示結果として前記特殊表示結果を導出表示することを決定するための特殊判定値と、第 1 識別情報又は第 2 識別情報の可変表示の表示結果として前記特定表示結果および前記特殊表示結果とは異なる所定表示結果とすることを決定するための所定判定値と、が含まれ、

前記特定判定値の数が異なる複数の設定値のうちのいずれかの設定値に設定可能な設定手段を備え、

前記特殊判定値の数は、いずれの設定値でも共通であり、

前記所定判定値は、全ての設定値の前記判定値に含まれ、

前記所定判定値の数は、設定値に応じて異なり、

第 2 識別情報の可変表示に対応する前記特殊判定値の数の方が、第 1 識別情報の可変表示に対応する前記特殊判定値の数よりも多く、

前記有利状態の種類が複数あり、前記有利状態の選択割合がいずれの設定値でも共通である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

(手段 A) 本発明による遊技機は、第 1 識別情報の可変表示を行うことが可能であり、第 2 識別情報の可変表示を行うことが可能な遊技機であって、

第 1 識別情報又は第 2 識別情報の可変表示の表示結果として特定表示結果が導出表示されたときに、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な有利状態制御手段と、

第 1 識別情報又は第 2 識別情報の可変表示の表示結果として前記特定表示結果とは異なる特殊表示結果が導出表示されたときに、前記有利状態とは異なる特殊状態に制御可能な特殊状態制御手段と、

第 1 識別情報又は第 2 識別情報の可変表示の表示結果を決定するための判定値を用いて、可変表示の表示結果を決定する表示結果決定手段と、を備え、

前記判定値に、第 1 識別情報又は第 2 識別情報の可変表示の表示結果として前記特定表示結果を導出表示することを決定するための特定判定値と、第 1 識別情報又は第 2 識別情報の可変表示の表示結果として前記特殊表示結果を導出表示することを決定するための特殊判定値と、第 1 識別情報又は第 2 識別情報の可変表示の表示結果として前記特定表示結果および前記特殊表示結果とは異なる所定表示結果とすることを決定するための所定判定値と、が含まれ、

前記特定判定値の数が異なる複数の設定値のうちのいずれかの設定値に設定可能な設定手段を備え、

前記特殊判定値の数は、いずれの設定値でも共通であり、

前記所定判定値は、全ての設定値の前記判定値に含まれ、

前記所定判定値の数は、設定値に応じて異なり、

第 2 識別情報の可変表示に対応する前記特殊判定値の数の方が、第 1 識別情報の可変表示に対応する前記特殊判定値の数よりも多く、

前記有利状態の種類が複数あり、前記有利状態の選択割合がいずれの設定値でも共通である。

(手段 1) また、他の発明による遊技機は、可変表示を行うことが可能な遊技機であって、可変表示の表示結果として特定表示結果（例えば、大当り図柄）が導出表示されたときに、遊技者にとって有利な有利状態（例えば、大当り遊技状態）に制御可能な有利状態制御手段（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ 100 におけるステップ S 115 A ~ S 118 A を実行する部分）と、可変表示の表示結果として特定表示結果とは異なる特殊表示結果（例えば、小当り図柄）が導出表示されたときに、有利状態とは異なる特殊状態（例えば、小当り遊技状態）に制御可能な特殊状態制御手段（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ 100 におけるステップ S 119 A ~ S 121 A を実行する部分）と、可変表示の表示結果を決定するための判定値（例えば、大当り判定用の判定値、小当り判定用の判定値）を用いて、可変表示の表示結果を決定する表示結果決定手段（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ 100 におけるステップ 026 I W S 59 A , S 64 A , S 59 B , S 64 B を実行する部分）とを備え、判定値には、可変表示の表示結果として特定表示結果を導出表示することを決定するための特定判定値（例えば、大当り判定用の判定値）と、可変表示の表示結果として特殊表示結果を導出表示することを決定するための特殊判定値（例えば、小当り判定用の判定値）と、可変表示の表示結果として特定表示結果および特殊表示結果とは異なる所定表示結果とすることを決定するための所定判定値（例えば、はずれ判定用の判定値）とが含まれ、特定判定値の数が異なる複数の設定値（例えば、設定値「1」～「6」）のうちのいずれかの設定値に設定可能な設定手段（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ 100 におけるステップ S 21 T M 4530 ~ S 21 T M 4620 を実行する部分）を備え、特殊判定値の数は、設定値によらず共通であり（図 9 - 1 および図 9 - 2 参照）、所定判定値は、全ての設定値に対応する判定値に含まれ、所定判定値の数は、設定値に応じて異なる（図 9 - 1 および図 9 - 2 参照）ことを特徴

とする。そのような構成によれば、設定値の推測の困難性を高めて、遊技に対する興趣を向上させることができる。